

AIR2022

～あべの、UFO、音楽・・・～

(妻悦子没後5周年、まつむし音楽堂10周年)

2/20(日)

14:00 開演(13:30 開場)

入場無料 (供物不要、平服でおいでください)

●出演

久保慶子(Vo・Pf)/小濱加奈子(Pf)/柳浦香澄(Vn)

和田高幸(Fl、Vo)

●曲目

アメージング・グレース/グリーンスリーブズ/虹の彼方へ

フルートソナタ ホ長調(バッハ作曲) 第1楽章

「月」(貴志康一作曲)/「竹取物語」(同)

ツイゴイネルワイゼン(サラサーテ作曲)

早春賦(吉丸一昌作詞・中田章作曲)/長崎の鐘(サトーハチロー作詞・古関裕而作曲)

大阪ラブソディー(山上路夫作詞・猪俣公章作曲)

ワルツィングマチルダ(豪州民謡)/千の風になって(新井満作曲)

ほか

(後ろを向けば)

かつて常盤幼稚園へ市バスで通園、車窓から見たのはアベノ「タオル屋」(現まつむし音楽堂)だった。留学先の豪州から帰国、東京への一極集中が加速し始める第一次オイルショックの後もなぜか「大阪」にこだわり、サンケイ新聞社への就職が内定(1974)して安堵するや生駒山で「空飛ぶ円盤」(UFO)が頭上に飛来。以後、超常現象を追跡しながら「音」に取り組む毎日となった・・

●和田高幸(まつむし音楽堂あるじ)

1950年・・和歌山市玉藻丁に出生。

1968年・・追手門学院高校を卒業、法政大学文学部へ入学。当時、キャンパスは全共闘運動の拠点となり単位は筆記試験のみ、在学中(4年間)はNHK総合放送文化研究所(当時)にアルバイト勤務。フルートを石原利矩氏(当時N響)、若林正史氏(当時相愛女子大学助教授)に師事、基礎から学んだ。

1971年・・後輩の故人 M 君(武良光:Fl、村尾雪路/横井政子:Pf)とモーツァルトサロン(大阪駅前第一ビル)でジョイントリサイタル開催。

1975年・・産経新聞大阪本社へ入社。

1988年・・「スーパーマインドセッション 88」(FSG のサンケイリビング関連社に出向、東京での単身赴任時にサンケイ会館で開催)

1995年・・「コミュニケーション宇宙と人間一きみは ET に出遭えるか」(神秘のUFO写真展)＜産経新聞社・WTCビル(現大阪府庁)共催＞

2003年・・産経新聞社を早期退職、株式会社和田商店(タオル卸売業)へ入社。

2008年・・「なにわの海の時空館(休館)夕映えコンサート」(同館主催)。

2010年・・「アンサンブルコスモス演奏会」(西宮マイスターライオンズクラブ主催)。

2012年・・「まつむし音楽堂」開設。湯川胃腸病院ホスピス棟にて演奏会(Pf井前典子氏)。

2013年・・故佐藤良和氏(追手門学院で教鞭をとり大学院在職中に茨木市生涯学習センター開設に貢献、学校演劇の重鎮)追悼演奏会。このとき彼の教え子で先輩であった高田八重子さん(オンキョー創業者・伍代武氏の長女)から故人の愛聴盤(SP 音源数百枚)一式、また追手門学院に在職した画家、田中英子氏から絵画「ザルツブルグ」(100号)の寄贈を受けた。

・カリフォルニアから奥吉野へ移住したシンセサイザー奏者・故宮下富実夫氏の追悼演奏会。

・サイ科学の先駆者、東洋医学臨床家として数多くの著作(著書や翻訳書も多数)を次々と世に出した故井村宏次氏の追悼演奏会(まつむし音楽堂)。

・元関西フィルハーモニー管弦楽団のオーナー、故大川進一郎氏の追悼演奏会(同)。

さらに、

・「まつむし音楽堂」「関西日本サイ科学会」合同慰霊祭(2018、2019、2021)を開催(同)。

・「まつむし音楽堂」の講師やその門下に参加する「合同発表会」(2016、2018、2021)ではオープンスクール併催(同)。